

い教養に留られてゐる女子は結婚前に可なりの閑暇を生ずる事になるのである、又一方家事も軽減せられて多人数を要せざることとなる。斯くて學校卒業後結婚に至るまでの間、娘は家にあつてもさまで必要視されない場合が多く、のみならず父兄の収入は娘達を徒食せしめ、更に結婚の費用を負担すべく、餘りに餘裕がない、こゝに於て剩餘の精力を利用する爲め、自己の生活を支ふる爲め、父兄の収入を補ふ爲め、或は結婚費の貯蓄等の爲めに未婚女子の就職者が近來著しく増加して來たのは正に當然の歸路でなければならぬ。

又既婚婦人の側から言へば未婚時代職業上の體驗を有し經濟的獨立の經驗あるものは結婚によつて斯かる有利な地位を抛棄する事を望まない。殊に是は職業と興味との一致する教養ある婦人の中に一居多いのが例である。又たとへ夫の収入で生活し得るにもせよ、夫婦のみの家庭に於ては妻の家居を是非とも必要とする程の用事もなく、妻が職業に従へば多少生活に餘裕も出來、不時の必要に備へる事も出來るのである。尙又夫婦二人暮らしの際に於てさへ二人の収入に依つて生活して居たものが分娩の爲めに支出が増加しながら妻の収入が減少しては一家の經濟は維持されない。そこで適當なる補助者を得れば、妻が依然として職業に従事した方が好都合な場合も少くない。孰れにせよ中流婦人の間に次第に勢を加へて來る職業の要求は婦人に對する經濟上の壓迫と共に、獨立自立の抑へ難き欲求の發現であると思なければならぬ。

第三節 現下に於ける婦人職業狀態並に其の趨勢

近時生活の壓迫と婦人の自覺とが婦人職業をして逐年激増せしむる傾向を生ぜしめてゐる事は、都下女學校卒業生の歸趨狀態を見ても其の一端を窺知することが出来る。即ち年々卒業生の増加に伴ひ、就職者數と上級の學校(主に職

業教育)へ進む行く者の數は増加する一方なるに、結婚する者の數は之に反して漸次減少する傾向がある。即ち就職者數は大正六年度には卒業生に對し三・四%が、七年度には三・九%、八年度には四・八%、九年度には四・一%、十年度には五・〇%で、進學者は大正六年度は一五・一%であつたが逐年増加して十年度には二四・八%となつた。

婦人の職業的活動がなされるやうになつてから婦人職業の分野が頗る拓け、ある特殊な職業を除くものの外、婦人が挑はらない職業は無い位である。けれどもアメリカの様に三百三種の職業の中婦人の全く參與しない職業は僅か八種類だけに過ぎないと云ふ(一九〇〇年に行つた國勢調査)ほどまだ我が國では婦人職業の分野が拓けては居らないが漸次婦人自身の手によつて開拓されつゝある事は事實である。

我が國に於ける職業婦人は女子人口の約一三%を占めて居る。即ち女子の人口約二千七百萬人として其の中職業に従事して居る者は三百五十八萬一千八百八十三人(市職業紹介所調査大正八年現在)であると云ふ、是を産業別に見れば最も多數を占めて居るのが、農作、園藝、牧畜、搾乳等に従事する農業方面の労働婦人で其の數が百三十一萬五千九百餘人である、次は工業及び鑛業即ち工場に働く女工、鑛山に働く女鑛婦等の九十八萬人、次は世間で所謂職業婦人と稱する精神労働者、即ち女醫、助産婦、官吏、女教員、社會事業家、宗教家、藝術家、記者、女優等公務自由業の部類に屬するもの四十二萬九千五百四十四人、次は商業方面の女子従業員で之が約四十萬人と推定されて居る、次は水産業即ち鮑や榮螺海草等を採る水産の労働に従事する海女で三十二萬四千人、家庭に於て女中とか派出婦と言ふ名で働いて居る家事使用人は九萬一千百餘人、土木工事や建築工事の下働に使はれて居る労働婦人が一萬二百餘人である、要するに筋肉労働者と精神労働者とに分けて見れば前者が二百七十二萬五百餘人、後者は八十六萬六百餘人で其の割合は七五%に對する二五%である。

第四節 婦人の天分と職業

婦人職業の可否は、其の職業が婦人の天分を傷けるや否やに依つて定まるもので、若し天分を傷ける様な職業であれば勿論否と言はねばならないが、天分を助長する様な職業であれば寧ろ婦人が職業に就く事に依つて進歩もすれば發達もし、人格が訓練され、琢磨され、完成されるのである。然かも經濟上の獨立の結果思想上の獨立が得られるのである、經濟的自由がなければ多くの場合眞の人格的自由といふものは有り得ないのである。されば經濟的自由の十分に與へられた婦人は、もはや男子の隸屬ではなく、其の好伴侶といふ事になるのである。けれども現在經濟的獨立をしてゐる者は極く僅で大部分は衣食費にも足らない三四十圓臺の低廉なる報酬に餘儀なくされてゐるといふ實狀である。故に産業革命及び婦人開放運動に依つて促進せられた婦人の職業生活は其の過度時代に於て種々なる弊害や悲惨なる犠牲を伴ふにせよ、結局男子中心の現状を打破して、社會をより好き組織に導く誘因として、その進化的意義を無視する事は出来ないのである。

然しながら婦人の職業問題が特に重要視せられるのは、婦人の職業生活と家庭生活、特に育児の任務との兩立が困難であり、兩者の兼攝が偶々婦人自身の心身を破壊するに止まらずして、次代の國民の運命にも、影響を及ぼすといふ事である。即ち有夫の婦人にして同時に職業婦人たる場合は、有職者としては、男子と同等の地位に立つて、同等の能率を擧ねばならず、一方家庭の主婦としては、優に一個の職業に値する勞務を負擔せねばならないのであるから獨立した二つの職業を一人で兼攝するといふ苦しい立場に立つのである、さればよほど絶倫なる精力と能力との持主でなければ、かゝる無理な兼攝に成功する理由のないことは當然である。従つて其れ等の婦人は職業婦人としても、

主婦としても、其の一方に精力を集中し得る人々に比して能率が上らず、職業的方面に於ても歡迎せられず、家庭に於ても不成功者と看做される場合が多い。故に結婚と同時に退職するといふ事は望ましい事ではあるが、現代の經濟組織では、結婚婦人を家庭から職業生活に續々赴かしめてゐるのである。

此の形勢が本人の心掛如何で解決し得ないとすれば、當局は此の情勢に對して最善の對策を講究せねばならないと思ふ。

第二章 東京市に於ける婦人職業

第一節 婦人職業の概況

市勢統計(大正九年十月一日現在)に依れば東京市の人口二百十七萬三千二百人中、職業を有するもの九十萬八千四百四十二人、職業を有せざるもの百二十六萬四千七百五十八人、其の割合は有業者四一・八〇%に對し無業者は五八・二〇%である、尙之を男女に依つて見れば男子の有業者は七十七萬一千六十九人、女子有業者は十三萬七千三百七十三人で其の割合は男子八二・一八%に對し、女子は一七・八二%に當る。而して女子の有業者は女子總數から見れば、僅かに一三・七一%を占めて居るのみで女子の大部分は本業無く生活上從屬者の地位にあるものである、即ち本業無き從屬者は七三・八二%に當り、家事使用人は七・一四%、無職業者(職業分類上の本業者)は五・三三%である。

今女子有業者十三萬七千三百七十三人に就き其の就職状況を見らば、最も多く就職して居るのが商業の五萬三千九百九十五人、次は工業の三萬九千三百十九人、公務自由業の二萬八千七百八十九人、其の他有業者七千八百八十四人、交通業の五千四百九十一人、農業の一千二百十六人、家事使用人の五百二十二二人、鑛業の百十五人、最も少いのが水産業の四十二人である。左に職業分類に依る男女就職者の比較を示せば、

男女就職者比較(職業分類に依る)

職業分類	實數		比例	
	男	女	男	女
農業	七、七二九	一、二一六	一・〇	一・〇
工業	三、〇六五	一、一五五	〇・四	〇・一
商業	三、三八五	三、九一九	四・三	二・八
交通業	五、八六一	五、四九一	七・六	四・〇
公務自由業	八、九五八	二、八八九	一一・六	二・一
其他の有業者	一、三、四三七	七、八八四	一・八	五・七
家事使用人	二、五四二	五、二二三	〇・三	〇・四
合計	七、七二九	一、二一六	一・〇	一・〇

水産業	一、〇四二	四二	〇・一	〇・〇
鑛業	三、〇六五	一、一五五	〇・四	〇・一
工業	三、三八五	三、九一九	四・三	二・八
商業	五、八六一	五、四九一	七・六	四・〇
交通業	八、九五八	二、八八九	一一・六	二・一
公務自由業	一、三、四三七	七、八八四	一・八	五・七
其他の有業者	二、五四二	五、二二三	〇・三	〇・四
家事使用人	七、七二九	一、二一六	一・〇	一・〇
合計	七、七二九	一、二一六	一・〇	一・〇

女子有業者の職業上の地位を見れば、企業主即ち業務を主宰經營する地位にある者は、三萬七千七百七十七人であつて女子有業者總數の二七・〇%に當り、企業主の下に在つて専ら事務又は技術に従事する職員地位にある者は、二萬六千四百七十七人で一九・二%を示し、而して企業主、職員の下にあつて其の指揮に従ひ單に勞務に従事する勞務者は七萬三千八百四十九人で、五三・八%を占めて居る。

次に有業者の年齢階級を見るに、職業上の地位に依り各々經濟上及經驗、配偶等の關係上年齡階級に於ける割合に差異を生ずる。即ち左表の如く業主にありては二十五歳より五十歳迄の者が大部分で六六・一%を占め、就中三十五歳より四十五歳階級の者が最も多い。職員及勞務者は十五歳より三十歳迄の者が其の大部分を占めて居るが、職員級の者よりも勞務者が、幼少から職に就き比較的長い間、就職して居る。有業者の最も多い十五歳より二十五歳迄の割合を見るに企業主は九・一%、職員は五八・七%、勞務者は四六・五%で共に二十五歳より激減して居るのを見る。これは結婚との關係で、有業の未婚婦人が結婚と同時に職業生活を辭すると言ふ事が窺はれる。

年齢別に依る職業婦人表

年齢	人数				百分比			
	業主	職員	勞務者	計	業主	職員	勞務者	計
一〇—一五	一一	四六	二四一	二九八	〇・〇	〇・二	〇・三	〇・二
一五—二〇	九一	二、三七一	八、一七二	一〇、六三四	〇・二	九・〇	一一・一	七・八
二〇—二五	七六八	九、〇三〇	二九、四九三	二九、二九一	二・一	三四・二	二六・四	二二・三
二五—三〇	二、五九一	六、四六七	一四、八二一	二二、八八九	七・〇	二四・五	二〇・一	一七・四
三〇—三五	三、九六二	三、〇九八	七、九四〇	一五、〇〇〇	一〇・七	一一・七	一〇・八	一〇・九
三五—四〇	五、二〇八	一、八八六	五、六九七	一二、七九一	一四・〇	七・二	七・七	九・三
四〇—四五	五、六八九	一、二四五	五、〇一二	一二、八四六	一五・三	四・三	六・八	八・六
四五—五〇	五、五七三	八二九	四、三一〇	一〇、七一二	一五・〇	三・一	五・八	七・八
五〇—五五	四、一一五	五九三	三、一一九	七、八二七	一一・一	二・二	四・二	五・七
五五—六〇	三、四九四	三九八	二、一六四	六、〇五六	九・四	一・五	二・九	四・四
六〇—六五	二、四五四	二二九	一、四五四	四、一四七	六・六	〇・九	二・〇	三・〇
六五—七〇	一、六六一	一五一	七二二	二、五八四	四・五	〇・六	一・〇	一・九
七〇歳以上	九五五	八五	四三一	一、四七一	二・六	〇・三	〇・六	一・一
計	三七、一一七	二六、四〇七	七三、八四九	一三七、三七三	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇

次に分布区域を見るに左表の如く、浅草區が最も多く其の數二萬五百四十五人、本所區は二萬五千六百二人、深川區は一萬三千二百七十人、芝區は一萬一千一人、京橋區は一萬三百七十七人、下谷區は一萬百六十人で、最も少いのが

坂區の三千七十八人と廻町區の三千九百三十七人である。猶又職業上の地位から其の分布状態を見ると企業主に於ては浅草區が最も多く次は本所、下谷、芝、深川といふ順序である。職員は芝、本郷、日本橋、浅草、京橋、方面に多く本所、深川方面は少い。勞務者の多いのは浅草、本所、深川、下谷、京橋といふ順序である。

市内職業婦人分布表

区域	人数				百分比			
	業主	職員	勞務者	計	業主	職員	勞務者	計
廻町區	九五六	一、四九〇	一、四九一	三、九三七	二・六	五・六	二・〇	二・九
日本橋區	二、三九三	一、八四六	四、一八四	八、四二三	六・四	七・〇	五・七	六・一
京橋區	二、六八〇	二、三三八	四、五四四	九、四九六	七・一	八・九	六・一	七・〇
芝區	三、〇四七	二、九三四	五、〇二〇	一〇、二〇七	七・二	八・三	七・二	七・四
麻布區	一、二四八	一、〇三一	二、二三四	四、五一一	八・二	一一・一	六・八	八・〇
赤坂區	八九四	一、〇八〇	一、一〇四	三、〇七八	二・四	四・一	一・五	三・三
四谷區	一、一九四	一、一三一	二、二五九	四、五八四	三・二	四・三	三・一	三・八
牛込區	一、九七三	一、八二二	二、八三二	六、六二七	五・三	六・九	三・八	五・七
小石川區	二、一二三	一、八七七	三、八八二	七、八八二	五・七	七・一	五・三	五・八
本郷區	二、三二九	二、三六六	三、三五四	八、〇四九	六・三	九・〇	四・五	七・四
下谷區	三、二六〇	一、四五四	五、四四六	一〇、一六〇	八・八	五・五	七・四	一五・〇
浅草區	五、六〇二	二、三〇八	一二、六三五	二〇、五四五	一五・一	八・七	一七・一	一五・〇
本所區	三、九六六	一、三二九	一〇、三〇六	一五、六〇一	一〇・七	五・〇	一四・〇	一四・四
深川區	二、八三八	一、二一五	九、二一七	一三、二七〇	七・六	四・六	一二・五	九・七

第二節 婦人職業の種類及解説

職業婦人は國勢調査式の産業別から見れば大部分自由職業に屬して居るのであるが、其の種類に依つて智力を主としてゐるもの、技術を主としてゐるもの、又體力を主としてゐるものとに區分することが出来る。勿論中には確然たる區別のつかないものもある。

智力を主としてゐる職業は教師、醫師、藥劑師、記者、著述家、作家、事務員、ガイド、探偵等で體力を主としてゐるものは、女工、女中、派出婦、車掌、運轉手、女給、モデル等、技術を主としてゐるものは齒科醫、按摩、産婆、看護婦、タイピスト、速記者、交換手、製圖手、美容術師、髮結等でゐる、女優、美術家、音楽家、遊藝師等は技術、智力何れの部類にも屬してゐるものである。

次に職業婦人を収入の點から見れば上中下の三階級に區別することが出来る。即ち經濟的獨立の出来る階級を中の部とし、それ以上を上の部とし六十圓以下を下の部とすれば上の部は醫師、著述家、音楽家、美術家、女優、作家、教育家、美容術師、髮結、遊藝師、産婆、自動車運轉手、寫眞師等である何れも斯道にかけては優秀な技倆を有して居る者である、殊に女高師、音楽學校等の教授の中には勅任の待遇を受けて居る者もあつて、社會からも成功者と目される事が多い、其の上好配偶を得ることもむづかしい關係上獨身生活を餘儀なさざる場合が多い、又晩婚者が多い爲めそこに一種の悲哀が伴ふのである。

中の部には中等教員、ガイド、藥劑師、記者、按摩、モデル、速記者、探偵、外交員、料理店の女中、女給、車掌、官公吏、小學教師等で月收六七十圓から百圓内外を得て自活してゐる者である、然し中には下の部に屬するものも上の部に屬する者も勿論あるのである、モデル、女給、女中等二三の職業婦人を除けば大部分女學校程度及びそれ以上の教養ある婦人で比較的就職年限が長い、それは此等の職業が結婚後も繼續出来る性質の職業であるからである。

下の部にはタイピスト、事務員、圖書館員、製圖手、看護婦、保姆、傳道師、製糸教婦、交換手、店員、派出婦、女中、(家庭)女給、(演伎場案内人、出札係)女工等で六十圓以下の収入階級の者である、此等の職業婦人(中には寧ろ婦人労働者と目すべきものもある)は勞力に對する報酬は最も低廉で剩へ人格を無視されてゐる事は今更云ふまでもない、此等の婦人の七八割までは十五六歳から二十三歳迄の未婚者で殆ど生計補助と嫁入仕度の爲めに働いて居るものである、主に無産階級の出身者が多い爲め教養の機會すら與へられず大部分小學校卒業程度の婦人である、而して此等の職業婦人は中の部より結婚の機會が困難ではないが、無職の有閑階級の婦人より遙かに結婚の機會が尠く或は晩婚の傾向があるので(二十三歳で結婚するものが多い)此等職業婦人が次第に殖えて來るのである。従つて下級の職業婦人及婦人労働者が數に於て最も多數を占めて居る、即ち最も多いのは女工で府下に五萬三千八百十四人(大正十三年九月現在)次は女中で約三萬九千人、事務員約一萬五千人、髮結九千八百八十人、交換手約八千五百人、看護婦六千九百九十四人(十三年八月現在)、産婆四千六百七十七人(十三年十二月現在)、按摩千三百三十人(十二年十二月現在)、タイピスト約千七百四十四人、小學教師市内だけで千五百九十八人(十三年九月現在)等である、而して現今の社會狀態では職業婦人も婦人労働者も今後益々増加して行く許りである。

収入別に職業婦人を記せば左の通りであるが然し同じ職業でも各自の技倆等に依り上の部に屬する者もあれば中の

部に属する者もありて一定しては居ないが大體から見て推定に依り區分したものである、又収入人員に於ても教員其の他數種の外は主に推定して記したものである。

收入別に依る婦人職業一覽

種別	収入	最高	最低	平均	人員
醫師(開業醫)	七〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	三〇
著述家	七〇〇	二〇〇	二〇〇	三〇〇	一〇
音楽家	五〇〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	三〇
美術家	五〇〇	一五〇	二〇〇	二〇〇	四〇
活動女優	七〇〇	一〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇
齒科醫(開業醫)	六〇〇	一〇〇	一五〇	二〇〇	二〇
作家	四〇〇	一〇〇	一五〇	二〇〇	二〇
美術師	五〇〇	一〇〇	一五〇	二〇〇	三〇
教育家	三〇〇	一〇〇	一五〇	二〇〇	五〇
醫師(開業醫に非ざる)	二〇〇	八〇	一五〇	二〇〇	一五〇
齒科醫(同)	一五〇	六〇	一〇〇	一五〇	七〇
髮型師	七〇〇	八〇	一三〇	一五〇	九、一八〇
遊藝師	四〇〇	九〇	一三〇	一五〇	三〇〇
産婆	五〇〇	八〇	一五〇	二〇〇	四、六二七

種別	収入	最高	最低	平均	人員
白馬車運転手	三〇〇	八〇	一五〇	二〇〇	二〇
寫眞師	二〇〇	八〇	一五〇	二〇〇	二〇
中等教員	一四二	七〇	一〇〇	一〇〇	八四七
ガイト	一五〇	八〇	一〇〇	一〇〇	五〇
藥劑師	二〇〇	七〇	一〇〇	一〇〇	四〇
記摩者	一五〇	七〇	一〇〇	一〇〇	一、一三〇
按テ	一五〇	六〇	一〇〇	一〇〇	一、一三〇
速記者	一五〇	七〇	一〇〇	一〇〇	一〇
探偵員	一五〇	六〇	一〇〇	一〇〇	二〇
外交員	一五〇	八〇	一〇〇	一〇〇	一五〇
女中(料理店)	三〇〇	八〇	一〇〇	一〇〇	三、二〇〇
女給	二〇〇	七〇	一〇〇	一〇〇	五、〇〇〇
女掌	一〇〇	七〇	一〇〇	一〇〇	一五〇
官公吏	一〇〇	八〇	一〇〇	一〇〇	一、五九八
小學教師	一〇〇	七〇	一〇〇	一〇〇	三〇
タイピスト	一〇〇	七〇	一〇〇	一〇〇	一、七四四
事務員	七五	二四	三五	五〇	一五、〇〇〇
圖書館員	八〇	四〇	五〇	五〇	三〇

製圖手	六〇	三六	四五	一七〇
看護婦	一〇〇	三六	五〇	六、五九四
保母	一〇〇	三〇	五〇	二六一
傳道師	九〇	四〇	六〇	二〇〇
製絲教婦	九〇	四〇	六〇	一〇〇
交換手	八三	二〇	三五	八、五〇〇
店員	八五	二〇	三五	四、五〇〇
派出婦	四五	一五	二七	一、二〇〇
女中(家庭)	二〇	一〇	一五	三五、〇〇〇
女給(演伎、川札係)	一五〇	三〇	四〇	一、五〇〇
女工	七〇	二五	二六	五三、八二四

種類及待遇——教員の種類には女高師、女子大、音楽學校等の教授、講師、高女、中學、女子師範等の教諭及び助教諭、小學校の訓導、専科訓導、代用教員等種々あり。其の待遇は専門學校の教員の多くは奏任にて中には勅任の待遇の者もあり、中等教員は奏任、小學校教員は判任の待遇を受けて居る。其の他勤続年數に依り年功加俸あり、退職の場合には一時の給與金もあり又十五ヶ年以上勤続すれば恩給の特典にあづかる等種々の待遇方法が講ぜられて居る。

收入——専門學校の勅任教諭の中には年俸二千四百圓から二千七百圓迄あるが普通は二千二百圓内外の者が最も多い、中等教員は初任七十圓内外から年俸千七百圓迄で平均九十圓内外である。小學校教員の月俸額は之を東京市の大正十三年七月一日現在に依れば本科正教員は八十三圓九十四錢(前年度同期調に比し二十八錢六厘を増す)専科正教員

は七十六圓八十六錢二厘(同じく一圓四十錢三厘を増す)である尙各區別に記せば左の通りである。

市立小學校正教員待遇調(大正十三年七月一日現在)

種別	人	平均額	人	平均額
區名	員	円	員	円
麹町	一二五	八二、九五	二三	八一、三〇四
神田	二〇五	八六、八〇四	二八	七八、〇三五
日本橋	一五〇	八八、七三三	二一	七五、二三八
京橋	二一〇	九〇、〇二三	三一	七九、五一六
芝罘	三〇九	八六、七七九	四三	七三、〇二三
麻布	一七三	八二、一六七	二三	八〇、〇〇〇
赤坂	一〇八	八四、三五一	一八	七五、五五五
四谷	一三二	八四、二〇四	一六	七五、〇〇〇
牛込	二五七	七八、五六〇	三二	七四、六八〇
小石川	三二二	七七、七三二	三二	七七、〇三一
本郷	二六七	八二、三〇〇	三〇	七三、三三三
下谷	三三〇	八二、四二〇	三九	七一、六六七
浅草	三四八	八五、七九〇	四〇	八〇、八七五
本所	三〇九	八四、八五四	三六	八〇、四一六
深川	二三七	八三、一〇〇	二三	七八、九一三
合計	三、四八二	八三、九四〇	四三五	七六、八六二

保母は(幼稚園・託児場等)三十圓から五十圓迄の者が最も多く園長級の者で最高が百十圓、最低二十二圓(託児場)

保母は五十圓、見習は日給一圓)で其の平均額は六十圓九十八錢で小學教員よりは待遇が一般に低い。小學教員は俸給以外に住宅料、年功加俸等が附いて居るから他の職業よりも責任が重い代りに待遇もよくなつて居るのである。

教員數——高等教員は五十人内外で極く少數であるが中等教員は男子二千八百十一人に對して女子は八百四十七人で總數の二割三分強に當つて居る、小學教員は男子二千七百二十五人に對し女子は千五百九十八人で總數の三割七分弱を占めて居る。幼稚園託児場の保母は其の性質上女子の獨舞臺である、市内外には約二百五六十人の保母がある。

市立幼稚園十六箇所(休園一) 保母五十人

私立幼稚園六十七箇所(休園一八)保母百十三人

公、私託児場約五十箇所 保母約百人

勤務狀態——訓導は一學級五十四、五人の兒童を擔任し其の學級の全責任を負ふて居るのであるから責任は重いが其の代り無邪氣な兒童の教養の任にある職業なので他の職業に比して愉快な處もある。勤務時間は夏冬に依つて異なるが、始業時間前に登校し一日四時間から五時間の授業をすまし、兒童退出後一時間以上居残つて兒童の成績品の整理、教案の作製等を爲して歸宅するのである。中等教員は科目擔任故授業時間は一日二時間より四時間で一週間二十時間内外となつてゐる。

休日 は日曜、祝祭日の外休暇として暑休一ヶ月冬季に二週間學年末に一週間程ある。

資格——試験檢定と無試験檢定との二種がある。試験檢定は定期に行はる文部省の中等教員檢定試験及各地方にて行はる、小學教員檢定試験に合格した者にそれ／＼免許狀を與へ、無試験檢定は特定の學校を卒業した者に無試験で免許狀を與へらるゝのである。無試験檢定の學校の重なるものは中等教員にあつては東京及奈良の兩女子高等師範

學校等、小學校教員は東京では小石川竹早町の東京府女子師範學校其他各地方の女子師範學校である。

無資格で教職に就くのは萬事不利の立場にある故、女學校出の者は女子師範の二部に入るのか、檢定試験を受けて資格を得る事が得策である。

總論 保母は文部省令に依ると保母になる資格は尋常小學校准教員の免狀を持つて居る者であればよい。高等女學校卒業生は唯教員となる資格があるから當然保母となる資格はあるが然し實際は保母としての特別の教養を受ける必要があるのである。(教員及び保母養成所は附録参照)

醫 師

我が國に於ける女醫界は、前途尙洋々たるものである。男醫は男醫の特長が有り、女醫には女醫の取り柄がある、即ち婦人科、産科、小兒科等は婦人の方が適當と思はれる。従つて年々女醫合格者が病院其の他よりの申込に對して到底應じ切れない有様であるのは、女醫を待つ範圍の極めて廣いと言ふ事と、前途の輝かしい光明を物語つて居るのである。

病院勤務と自宅開業——女醫となつてもすぐ開業といふ譯にはいかぬ。どうしても尙二三年の實地研究を必要とし、且つは開業費も可成多額を要する故、試験合格後二三年は病院勤務で實地研究をし、其の後自宅開業をするのが普通の順序の様である。

今、本邦唯一の女醫養成所である牛込區市ヶ谷河田町の女子醫學專門學校の卒業生の歸趨狀態を見ても、大正六年度から十年度までの五ヶ年間に卒業生を三百三十人出して居るが、自宅開業した者が二十五人で卒業生に對して僅か七、

五%である。病院に勤務して居る者が百六十七人、外國や其の他に於て研究して居る者が百十一人を占めて居る。

收入——醫專卒業して東京で病院へ勤務すると、初任月俸七十圓内外であるが、卒業後一年位助手をして居た人なら、地方へ行けば百圓から百五十圓位支給されると云ふ。東京市内に於て自宅開業で最も成功したと言はれる女醫は、月収千圓以上あるとのことであるが、普通開業醫の月収は百四五十圓から四五百圓級の者が多い様であるが然し技倆次第であるから收入は一樣ではない。

資格——醫師試験と言ふ國家試験を受けるには、修業年限四ヶ年以上の高等女學校卒業生、若くはこれと同等の學力を有する者で醫學專門學校を卒業し、又は外國の醫學校で四ヶ年以上醫學課程を修了した者でなければ、受験資格がない。試験は毎年一回、東京市で行はれる。女醫の養成所としては吉岡彌生氏の女子醫專がある許りであるが、同校は修業年限五ヶ年で、授業料は年に百二十圓である。

齒科醫

女子で齒科醫になると云ふ考を持つ者の出たのは最近の事であつて其の數もまだ非常に少い。男子の齒科醫は全國に七千人もあるが女子の其れは百七十名に過ぎない。然しながら女子の齒科醫は決して男子の齒科醫に、職業的に侵されない特徴を持つて居るから、近い將來に於て供給過多などと言ふ現象は起らないであらう。東京神田駿河臺の女子齒科醫專に就いて見るに、明治四十三年頃は僅かに八名であつたのが五年前即ち大正八年から婦人齒科醫の希望者が一躍五倍六倍と云ふ多數になり現在では在校生百六十餘名を算する様になつたと云ふことである。尙同校は創立以來二百七十餘名の卒業生を出して居り、其の中開業免許を有つてゐる者は全國女齒科醫の九割を占めて居るとの事である。

收入——女子齒科醫は醫院住込みで東京ならば初任級五十圓、地方ならば六七十圓、通勤ならば東京で六七十圓、地方ならば八十圓内外である。自宅開業の女子齒科醫の月収は少い者で百五十圓で三百圓位が普通と言はれるが、相當手腕ある者は生活の維持許りでなく、心掛に依つて可成の財産をも作る事が出来るとの事である。

資格——齒科醫師試験に關する規定に依ると、受験資格の有る者は修業年限四ヶ年以上の高等女學校卒業生、又はこれと同等以上の學力を有する者で、更に修業年限三ヶ年以上の齒科醫學校を卒業した者に限つて居る。而して醫師試験と同じく餘程の勉強を以てせなければ及第困難であるが、毎年女子の出願者三四十人中、六七人の及第者を出して居るが、男子に比して甚だ良い成績であると云はれてゐる。女子齒科醫養成所は左の二校である。

明華女子齒科醫專門學校

本郷區元町二丁目

東京女子齒科醫專門學校

神田區駿河臺北甲賀町十二

授業料は前者は年七十五圓、後者は八十圓で共に寄宿舎の設備がある。而して修業年限は兩者共三ヶ年である。

藥劑師

婦人藥劑師は全國に僅が百名位のもので、大正七年度に於ける藥劑師試験合格者に付て見ても、男子二百二十人に對し女子は十人に過ぎないと言ふ寥々たる有様である。附れども親切、丁寧、秘密を要する藥劑師はよく婦人の特性に適つて居るから、婦人藥劑師の需要は益々多く將來有望の職業の一つであらう。

家庭と職業と収入——藥劑師は他の職業の様に結婚と同時に有利なる職業を、直ちに抛棄せずとも、自宅に於て賣藥店等を開業すれば純益月二百圓内外もあつて、家庭と職業とが兩立出來て、至極便利である。尙獨身の中は病院等へ通勤すれば初任五十圓内外、住み込み三十圓位の収入がある。

資格——藥劑師試験は、毎年二回行はれ、試験を分つて學說試験——各府縣で行ふ——及び實地試験——東京で行ふ——とし、修業年限四ヶ年以上の高女卒業業者、又はこれと同等以上の學力ある者が修業年限三ヶ年以上の藥學校を卒業した者を以て受験資格者としてある。

藥劑師養成所

東京女子藥學校 麹町區紀尾井町三(其他附錄參照)

記者

現今各新聞社、雜誌社では大抵二、三人の婦人記者が居て、主として家庭欄、婦人欄等を擔任してゐる又所謂婦人問題が喧しう論議される様になつてからは、婦人の行動や言論を多く取扱ふやうになつて、著しく婦人記者の手を俟つべき範圍が擴大されて來た。これらの婦人記者は東京に四十人も居て、それ〴〵活動して居る。

収入——は其人の手腕と各社に依つて區々ではあるが先づ最低六、七十圓から、最高百五六十圓、普通百圓内外といふ處であらう。

資格——高女卒業以上、專門學校程度の教養ある者で特に職業に興味を持つて居て文才があり、相當の外交手腕を備へてゐて感じの好い婦人でなければならぬ。

記者養成所としては別にないか東京女子大學では新聞科を特設して居る。

事務員

最近婦人事務員の増加に驚くべき程で、今や多くの官公廳、會社、銀行、商店等に於て、婦人事務員を使用せざる處は稀な位である。

一口に事務員と言ふても、其の勤務先に依つて通信事務員、鐵道事務員、銀行事務員、食社事務員、商店事務員等夫れ〴〵多少の差異はあるが、婦人事務員の仕事と言へば、何れも大同小異で、要するに計算とか、記入とかの仕事が主なものである。従つて婦人事務員に必要なのは簿記の素養と珠算の熟練といふことで、其の一通りを修得するのは高女小學又は高女卒業なれば簿記學校へ五、六ヶ月も通へばよからう。

収入——判任官の書記は最低四十五圓から最高八十五圓位、事務員は最低二十一圓、最高五十五圓、平均三十四五圓といふ處である。左に勤務先と俸給、勤務時間、及び従業員數を記せば

勤務先	俸給				勤務時間	従業員數
	最低	最高	平均			
通信省	五、〇〇	七、五〇	六三、六七		七時間	四
書記	二七、〇〇	六二、〇〇	三六、一一		同	三九
事務員	七〇	一、五〇			同	四三四
貯金局	五七、〇〇	八五、〇〇	六五、〇〇		同	三〇
書記	三三、〇〇	六七、〇〇	四〇、〇〇		同	二二六

事務員	二、一〇〇	五五、〇〇	二四、六〇	同	一、三九五
電信省通信局	一八、六〇	四〇、〇〇	二四、〇〇	同	六五
東京中央電信局	四五、〇〇	六五、〇〇	五一、七九		
書記補	三〇、〇〇	四六、〇〇	三三、二三		三五二
書記	九〇	一、四五	一、五〇		
東京鐵道局	八〇	八五、〇〇		六時間半	三九五
出札事務員	九〇	六二、〇〇	三三、〇〇	二十四時間	四四
東京				隔日勤務	
上野	八五	一、五一	一、〇二	同	一六
日本銀行	一三、〇〇	四三、〇〇		七時間	二五七
事務員	月手當九割	九割		同	二九三
補助員	月手當七割五分	七割五分		同	

資格——事務員は一般に、高等小學又は高女卒業生を採用して居るが、採用には募集廣告を出す處もあるが、其れとても定つて居ると云ふ譯ではないから希望者は夫々勤先に縁故のある人を通じて願書を差出して置くのが便利である。

勤務状態——事務員の勤務時は普通七時間か八時間であるが鐵道の出札掛等になると十二時間の處もある。出札掛は一人で一日多いときには八千圓も現金を取扱ふて、其計算も夜の十二時頃迄やつて、驛に泊り、次の日は休養して隔日に出勤するのであるから、殆ど暇といふものがない、故に過勞と運動不足の爲健康を害ふ者の多いのは遺憾な事である。

圖書館員

我國では婦人の圖書館員は未だ大した職業にもなつて居ないが、將來斯界の發達に伴つて非常な需要を喚起するのは明白な事である。米國の如きは今日數萬人の圖書館従業者の中三分の二以上は教養ある婦人達であるさうである。日本も大正十年から文部省直轄の圖書館員養成所といふ専門的知識を授ける所が出来た。男女共學で女子の入學の受験資格は高等女學校の卒業生に限つて居る。修業期間は一年、その間の講義は東京美術學校の教室、行ひ、實地の練習は帝國圖書館に於いて行つて居る。一昨年度の卒業生中女子は三、四名で何れも引つ張り夙で就職した。初任月收五十圓乃至六十圓で婦人の新しい職業の一つである。

店員

女店員を多く採用して居るのは、三越、白木屋、松坂屋、大丸、高島屋、松屋等のデパートメント式の呉服店で何れも百名以上、白木屋あたりは三百二十名、三越は食堂の給仕を加へれば六百名以上にも及ぶさうである。女店員は大體二つに分れて居る。即ち顧客に商品を販賣する係りと、計算課即ち金銭の計算、帳簿の記入等を扱ふ係とである。

勤務時間——は午前八時から、午後五時迄の九時間勤務であるが、終日雜踏する濁つた空氣の中で立ち詰めに働くのであるから、保健上どうかとも考へられる。

收入——初めは日給で見習三ヶ月は五十錢位、それから成績に依つて二ヶ月目、或は三ヶ月目に五錢或は十錢づつ

増給される。初任給料は尋常小學卒業日給一圓、實科女學校卒業、一圓十錢、普通の高等女學校卒業一圓二十錢、賞與は年一回で二ヶ月分位である。左に三越呉服店の俸給、勤務時間、従業員數を示さう。

店員の種類	俸給			勤務時間	従業員數
	最低	最高	平均		
株式三越呉服店					
店員	四〇、〇〇〇	八五、〇〇〇	五三、四八	九時間	三四三
子供	一、〇〇〇	一、五〇〇	一、一二	同	二八〇
技工	八〇	九〇	八四	同	二〇七
技日	四〇	一、五七	五三	同	

女店員の就職年限は一體に短いから絶へず移動がある。成るべく紹介に依る志望者を採用して居るが新聞廣告で募集する事もある。採用方法は履歴書を調べた上で本人について口答試験を行ひ言葉遣ひ、態度、容貌等を見て、販賣とか計算とか多少の手心を加へて適材を適所に配置されるのである。販賣には尋常小學卒業程度以上、計算課には高等小學校卒業程度以上を標準として採用して居る。家庭の種類は小商人及下級俸給者の娘が多い。

セールス、ガール——帝國ホテルの地下室に新しう設けられた、三十餘軒の美しい外人向きの雜貨品店、化粧品店、美術品店等の商店で販賣の全部の責任を託すといふので英語の話せる二十歳前後の若い女子をセールス、ガールとして用いて居る。給料は月給五十圓で賣上額に依つて多少の歩合もつくといふ事である。又同ホテルでは今、新しい試みとして語學の出来る婦人をクロツクガールとして採用して居る。元來大抵の大ホテルでは、受附兼荷物預り係にボーイを使用して居るが、男だとも取扱いが亂暴に流れ易いが、女子は客の應待が圓滑に行く許りでなく、物品の取扱も親切、丁寧でボタン等のとれた時は、一寸つけると云ふ様に氣がつくので好成績を擧げて居るさうである。

産 婆

産婆は婦人の特性に適つた最も意義のある職業の一である。然し昔は産婆を賤しむ風があつたけれ共職業に對する觀念の進歩は、醫師、教師等と共に社會に於ける重要な職業であり、尊重すべきものであるとの思想が昨今は明かになつて來た様である。現今は産婆志望者が著しく増加して、而も其の大多數がまだ肩上げも取れない若い婦人であることは注目すべき現象である。

産婆數——産婆は看護婦に次で多く其の數全國に約三萬人、東京府下だけに四千六百十七人居る。

産 婆 (大正十二年十二月現在)		試験及第	從來開業	計
指定の學校若くは講習卒業	市 内			
郡 部	九六	二、一六九	五五五	二、八二〇
合 計	八二	一、五五八	一五七	一、七九七
	一七八	三、七二七	七二二	四、六一七

收入——普通分娩の際に依頼に應じて産婦の家へ行くものとして、産の多い十二月、一月、二月頃は月に二十五、六件、七、八月の少い月で五、六件、平均月に十五件内外といふ處である。

而して妊婦の診察料として初診の場合は、往診一回、二圓より三圓、宅診は一圓以上、再診の場合は五十錢から一圓位である。出産の場合は出産取扱と一週間お湯を遣はし、謝禮金五圓より十圓内外、外にお膳料として三圓内外の祝儀を受ける。以上は東京に於ける神田方面の中流階級の家庭の標準である。——麹町、日本橋、赤坂、本郷、方面

は二十圓以上、深川方面は五圓位の處もある——これは産婆一人の收入であるが、普通出産の場合には助手を二人連れて行く故、助手にも産婆に準じて相當手當があるから、月二百圓内外から一流の老練な産婆になると年收五、六千圓位の者もあると言ふ。

資格——産婆試験と言ふのは一年以上病院或は醫師、産婆等の宅で、實地見習をした者であれば誰でも受けられるのである。産婆資格を得るには一はこの試験に合格すること、他は東京帝大、京都帝大、九州帝大、其の他の附屬醫院に産婆講習所といふのが附設してあつて、そこを卒業して資格を得るとの二つがある。

産婆の宅或は病院に産婆見習として、這入つて自分で勉強すれば試験を受ける事が出来るし、又見習中に産婆學校等に通はせて呉れる特志家もあるから産婆になるには餘り學費を要しない。試験は四月、十月の二回に行はれる。

産婆養成所の主なる者は

- 帝大醫學部附屬醫院産婆補習科東京帝國大學内
- 東京助産女學校 神田區三崎町三ノ一
- 濱田産婆學校 神田區駿河臺袋町
- 水原産婆學校 神田區表猿樂町一二
- 東京産婆學校 日本橋區矢の倉一二樓井病院内
- 日本産婆看護婦學校 麹町區麹町一ノ一九(以下附録参照)

看護婦

看護婦は全國に約三萬五千人、東京府下には大正十年末に六千六百九十八人、十二年末に六千五百九十四人居る其の種類は左の通りである。

看護婦數		大正十二年末現在(警視廳統計)	
正看護婦	五、三六八人		
準看護婦	一、二二六人		
見習看護婦	四、九九三人		

大正十年末現在 (同)

所屬種類	正看護婦	準看護婦	合 計	見習看護婦
看護婦會所屬	二、六六二	一、五九三	四、二五五	一、九七一
官公私立病院醫院	一、二二三	三三二	一、五五四	二、二八九
無所屬	五八七	三〇二	八八九	一、二二一
合 計	四、四八一	二、二一七	六、六九八	四、二六〇

妙齡の女子の看護婦志願者が甚だ多いのは、資格を得るに餘り困難でない許りでなく、殆ど無學費で修業する途もあり、それに又給料が比較的多いと言ふに原因するものと思はれる。看護婦になつて働くには、病院、醫院に雇はれるのと看護婦會に所屬して居て病院其の他患者に出張看護の任に當るのと無所屬の者との三通りがある。其の割合は看護婦會に所屬して居る者が六割三分を占め、官公私立病院醫院に勤務して居る者が二割三分、無所屬の者が一割三

分である。

収入——看護婦には一等、二等、三等と等級があつて給料もそれに應じて異つて居る、警視廳の規定に依れば左の通りである。

看護婦の等級と給料

看護婦の等級及料金		看護婦の等級と給料
正	病	一等看護婦 二、〇〇
傳	染	二等看護婦 一、八〇
病		三等看護婦 一、五〇
		等外 一、三〇

病院勤務——四、五十圓から八、九十圓迄

派出看護婦——食費向ふ持で一圓五、六十錢、普通傳染病は二圓内外、コレラ、ペスト等になると倍額の三圓餘である。此等は日常の外に相當手當も加はるから六、七十圓の収入にはなるが、看護婦會に手数料其の他を差し引かれる故、手取月収は四十圓位のものである。

派出看護婦會は市内に三百三十、郡部に四十二箇所あり、其の經營者は正看護婦二百十七人、準看護婦百五十五人である。而して看護婦會の規定は左のやうである。

一、食費——一日五十錢より八十錢

二、手数料——収入の二割

三、會費——金一圓

四、救済金積立金——金二圓宛

資格——看護婦の資格を持つ爲には、看護婦免狀を得ねばならぬ。これを得るには、地方長官の指定した學校又は大學病院、赤十字社病院などの附屬の講習所を出るのと、一は看護婦試験に合格するのとの二途がある。赤十字病院、慶大病院等では三ヶ年の養成期間中食費、學費全部支給し同月手當をも給して居る代りに、二年間の義務を負はせて居る。次に看護婦受驗資格は一年以上看護婦の學術を修業した者でなければならぬ事になつて居る。試験程度は高等小學卒業後一年位病院或は看護婦養成の學校へでも通つて勉強すれば合格出来るとの事である。

受驗の手續——願書に、履歴書、戸籍抄本、及六ヶ月以内に撮影したる寫眞に、手数料一圓を添附して警視廳に願ひ出ること、試験期は五月と十一月の二回で成績發表は公報に掲示され同時に合格證書を受けて一人前の看護婦となるのである。

高等看護婦養成——向高等女學校卒業以上の婦人にして、高等看護婦、或は病院經營者たんとする者の爲に高等看護婦養成所として、京橋區築地の聖路加國際病院内に高等看護婦學校といふがある。修業年限は三ヶ年である。

(附錄參照)

按摩

昔は按摩さんといへば、すぐ盲人を聯想する位、按摩術は盲人の獨占の職業の觀があつたが、今では却つて普通の人に職業を次第に擴食されつゝある様である。即ち警視廳の統計に依ると次のやうである。

女按摩數 (大正十年末現在)

あき

めくら

合計

按摩	六三八人	五四一人	一、一七九人
マッサージ	八二二人	二二	一〇五
鍼術	一七七	一〇三	二八〇
灸術	一六五	五五	二二〇
合計	一、〇六二	七二二	一、七八四

男女按摩数(大正十二年末)

按摩	二、六七八人
鍼術	一、四七九人
灸術	一、二八一人
合計	五、四三八人

内女按摩は一千百三十人であるが今日では震災前と大差無い迄に復興してゐる様推定される。尙盲人よりもめあきの多いのは注目すべき事である。

収入——按摩の収入は其の土地柄や技術の如何に依つて一定しないが、普通の按摩であつたら、上、下一時間半で七十銭である。一日に多い時は七人、平均三人位のものであるから、月収五、六十圓より百圓位まである。鍼術は一回一圓である。されば技術のある者は相當好い収入を得て居る。

資格——按摩になるには、東京盲學校を出るなり、或はめあきなれば四年間、めくらなれば二年間師匠について技術を修得し試験を受けて合格すれば一人前の按摩となれるのである。試験は警視廳で一年に、三月、六月、九月、十二月の四回行はれる。(附録参照)

タイピスト

タイピストは婦人の職業として極く新しいもので、外國でも今より二十年位前は婦人より男子のタイピストが多く、其の割合も男九に對する、女一位の割合であつたのが、器用に働く手指と細心な注意力を持つ婦人の特性に適つて居るといふ事が認められたのもあらう、歐洲戦争の頃は男三、女七位の割合までに進み、今では殆ど女子の獨占的の職業となつて二十年前と恰かも反對の現象を呈するに至つた。

収入——タイピストは財界の好不景氣に依つて多少の差はあるが他の事務員級より収入は多く女學校を出てタイピスト養成所を卒業した者で初任級が四十圓内外、英學塾、女子大等の専門學校出でタイプライターの打てる者は、會社の重役や社長の話を直ちに英文に譯して打てるといふ重寶な事がある故、よく頭の働く手腕のあるものは、七八十圓から百圓位の収入を得て居るものも可成ある。一、小學校出で邦文しか出来ぬものは、ほんの事務の傍タイプライターを打つので俸給も初任級は三十圓位のものである。

今タイピストの各勤先に於ける収入、勤務時間及従業員數を記せば左の通である。

タイピストの俸給		勤務時間		従業員數	
勤務先	種類	最低	最高	平均	
株式會社三淺銀行	タイピスト	三〇、〇〇	四五、〇〇	三七、五〇	七時間 六人

株式會社三菱合資會社	同	三二、〇〇	五九、〇〇	三九、〇〇	七時間より	三五
三菱商事株式會社	同	三〇、〇〇	七五、〇〇	三八、〇五	八時間	一九
久原鐵業株式會社	同	日、六五	日、八四	日、七一六	七時間	五
古河合名鐵業株式會社	同	三六、〇〇	六八、〇〇	五一、〇〇	同	四
株式會社三井銀行本店	英文タイピスト	二二、〇〇	二七、〇〇	同	同	二
東京火災保險株式會社	邦文タイピスト	日、九〇	日、一〇二	同	同	二
帝國興信所	タイピスト	三〇、〇〇	三七、五〇	三二、四〇	八時間	五
日本火災保險株式會社	タイピスト	三〇、〇〇	四五、〇〇	三四、九〇	同	一五
株式會社芝浦製作所	邦文タイピスト	日、七〇	日、一〇〇	日、八三	八時間	三
外務省	タイピスト	日、二四	月、七四、二〇	日、九一	同	六
東京鐵道省	同	二二、〇〇	五一、〇〇	三九、〇〇	七時間	六五
東京鐵道省	同	日、九〇	日、一五六	日、一〇七	六時間半	二〇
逓信省	同	日、一〇〇	日、一〇一	日、一〇四	七時間	二四
逓信省	同	二四、〇〇	三三、〇〇	三〇、一二	同	一〇
鐵道省	同	同	同	同	同	五一

タイピスト養成所——市内に七、八箇所あつて、邦文の方は高小卒でもよいが、英文の方は高女卒業の者で修業年限は三ヶ月から一ケ年、普通六ヶ月で卒業する事になつて居る。卒業後の就職口は大抵學校から紹介就職の勞をとつてくれる。其の主なるものは正則タイピスト學校、東京タイピスト學校、外語協會學校、東京基督教青年會タイピスト學校及女子青年會とのタイプライター科、高田女塾、日本タイプライター株式會社、邦文タイピスト養成所等である。

(附録參照)

速記者

速記者といふのは講演會の演説や、電話の通信等を速記する者で、普通教育たる高女を終へて少くとも一年か二年速記術を練習せねばならない。現在では女子速記者の數は邦文の方は極く少數であるが、英文タイピストは附帶の仕事として英文速記をする人が可成多くなつて來た。邦文速記者は新聞社、通信社等に採用されまた會社の重役附秘書となつて敏腕を揮つて居る者もある。

收入——俸給は仕事が比較的六ヶしく、速記者が少い關係上高級で初任給一ヶ月五、六十圓から百圓以上、又講演會の演説速記や著述者の臨時雇の場合は、一時間十圓内外になるさうである。範圍は狭いが女子の職業としては進んだ智識的のものであるから相當發達するであらう。

速記者養成所——としては神田區錦町一ノ十二、東京速記法研究學會、麹町區富士見町五ノ九、佃速記塾、麹町區一番町荒浪速記事務所内、荒浪速記義塾等がある。

交換手

交換手は市内の電話局に六千人、私設に約二千五百人位居るが、今日の傾向は割合に給料がよくつたのと、就職中種々の教養機關の便があるのと、尋常小學卒業程度で容易に採用されるのとで、仲々志願者も多いが、日本の激務と通話者の罵詈雑言に堪へずどしどし退職して行くので、よほどの努力をしても缺員の補充に骨が折れる有様である。

資格及給料——交換手採用の年齢は十三歳以上二十三歳以下で、夫なき者に限られて居る。學力は尋常小學卒業の者から無試験で採用されるが體格に甚だしい缺點のある者は駄目である。採用されると最初三ヶ月は見習で、日給其

の他の手當を給せられる、合算すると月十八圓内外になる。四五ヶ月経た者は日給手當で合計二十五圓位の収入がある。漸次昇給して五十圓迄は支給される規定である。尙永年勤務すれば書記書記補(制任官)となり月給五十圓内へ迄得る事が出来る。勤動者は朝八時から午後四時迄、夜勤者は午後四時から朝の八時迄である。

交換手監督——交換手監督は年齢満十八歳以上二十三歳以下の者で、高等女學校卒業生から採用されて居る。初任月給は三十四圓位。

中央電話局の俸給標準

交換手の種類	俸給			
	最低	最高	平均	列任六級
通信書記	五三、〇〇	五三、〇〇	六四、〇〇	
通信書記補	四二、〇〇	五三、〇〇	四四、〇〇	
電話交換主事補	日一、一二	日一、三五	日一、二三	
交換手	日一、八三	日一、一二	日一、八六	
通信事務員	日一、〇〇	日一、〇〇	日一、〇〇	
交換手見習	日一、六二	日一、七八	日一、六四	

會社商店の電話係——近來大會社、商店等で自社の電話係として、成績優良なる交換手を採用する様になつた。此の方は局より勤務も樂で待遇もよく遙に有利なので、局より私設の方へどしどし轉職して行く有様である。

美容術師

美容術師とは化粧、結髪、着付等を施術するを職業とする者の謂で容儀を整へる際に必要な職業である。美容術師

には一戸を構へて堂々と營業して居る者と、店主に雇はれて報酬を得て居る者とがある。

主なる美容術師を擧ぐれば左の通りである。

名	氏名	所在地
東京美容院	北原 十三男	京橋區南大工町一
理髮館	遠藤 波津子	京橋區竹川町一二
養生堂	養生堂	京橋區竹川町
美粧俱樂部	中村 久榮	赤坂區田町二丁目
巴里院	マリールウイズ	麴町區有樂町一ノ三
小口美容研究所	小口 美智子	市外青山原宿二一四番
麗粧館	島田 つや	牛込區築土八幡町九
同	同	丸の内ビルディング内
丸の内美容院	山野 千枝子	同
銀座美容院	早見 君子	京橋區銀座

収入——化粧一圓、衣裳着付二三圓、婚禮化粧十圓内外(衣裳着付共)其他自家製造の化粧品等を販賣して居る故、月收五六百圓より下ることはなからう。

美容術師志望者は二、三年見習に住み込むか、或は學校其の他の養成所に入つて、學理並に技術を習得するのである、主なる養成所は北原十二男氏の日本女子美容術學校(府下中野町宇中町六百十番地)資生堂の美容術師養成部、其の他小口美容研究所、巴里院、丸の内美容院等である。

日本女子美容術學校は修業年限本科一年三ヶ月、普通科九ヶ月、高等科六ヶ月、専修科六ヶ月である。——(専修科

は美容術、化粧品、衣裳着付等の中一を専修するもの。

學費は入學金二圓の外、一ヶ月授業料七圓、練習用衣裳及機械費二圓、化粧品其他の實費六圓である。入學期は四月、十月の二期で、十五歳以上の尋常科卒業程度以上の者としてある。

資生堂の美容科——美髮科の練習生は十五歳以上三十歳以下の女子で修業年限は各科目毎に滿一ヶ年とつて居る。練習期間中は資生堂店員と同一對遇と之に準ずる月給の給與を受ける故、修了後は四ヶ年の義務年限があるのである。

美容研究所では入學資格を高女卒業程度として教授の項目を甲乙の二種に區別し、甲の部では美顔術、化粧術、濃化粧、普通化粧、早化粧、衣裳の着付、帶の美術的扱方、裝身法、化粧品の取扱並に鑑別法等を授け、其の期間は二ヶ月乃至三ヶ月で、教授料金二百圓に其の他雜費三十圓を要する。乙の部は簡易美裝法と稱し主に結髪を職業として居る者の爲めに設けたもので、濃化粧、普通化粧、早化粧、衣裳の着付帶の美術的取扱方、一般裝身法等を十五日乃至、二十日間に授け、教授料五拾圓雜費拾五圓、を要することになつて居る。

美 髮 師

東京府下には髮結が九千八百八十名ある、左に大正十一年五月現在警廳統計を記さう。

使用人員	市、府		市、府		府、下		計
	從業者十名以上 使用して居るもの	五名以上使用 して居るもの	一名以上使用 して居るもの	使用せざ るもの	店舖を有せ ざるもの	合計	
市、府	一	五二	一、五〇二	三、七四四	九三一	六、二三〇	
市、府	一	八	七七一	一、七八九	三八二	二、九五〇	
府、下	一	六〇	二、二七三	五、五三三	一、三一五	九、一八〇	

收入——髮結の得意は何と云ふても花柳界が主で其の料金の如きも自宅結で普通一回一圓、山の手の屋敷向は出結で五十錢位である。されば普通月收入、九十圓から百二十圓といふ處が最も多い様である、けれども技倆の優秀な京橋邊の一流の髮結になれば徒弟を六、七人から十人以上も使用して居つて月收四五百圓から千五百圓にも及ぶものがある。市内一流と稱せらるゝ髮結を挙げれば左の通りである。

桑原千代氏	京橋區宗十郎町十一	大澤たけ氏	京橋區日吉町十二
伊賀とら氏	京橋區宗十郎町十	丹羽かく氏	本郷區同朋町十
關口文子氏	京橋區南金六町十四	池田つま氏	
佐藤あき氏	下谷區數寄屋町十三	荒木とき氏	麹町山元町一ノ九

美髮師志望者は傳手を求めて三年乃至五年間徒弟に住み込む或は學校組織のた記養成所に入つて腕を磨くか二途何れかを選ぶべきである。主なる養成所は神田區表猿樂町二、日本女子美髮學校、牛込區水道町三二、東京女子美髮學校、本郷順天堂横丁、東京婦人美髮學校等である。日本女子美髮學校に就いて見るに、本科は一年二ヶ月、速成料は三ヶ月、美顔、美裝術は各一ヶ月で卒業になり學費は入學金一圓の外授業料一ヶ月四圓より九圓までである。(附録參照)

モ デ ル

藝術の隆盛に伴ひ、モデルの需要が益々多くなつて市内に百五十名内外の女のモデルが居るが、秋の美術季即の準備にとりかゝらうとする六月頃から九月頃迄は供給しきれない様な有様である。

モデルの必須條件としては胴が短くて脚が長く、四肢の圓滿に發達して居て肉附の豊かなものがよいとしてある、是は主に洋畫、彫塑等裸體となるモデルの資格であるが邦畫の着衣のモデルとなると多少其の趣を異にして居る、即

ち美しい顔と、曲線美に富んで居る姿の持主でなければならぬ。さて是丈の条件を具備して居ても、愈々裸體でモデル臺に立つ瀬戸際には、先づ大抵の女でも一旦は尻込みする、美術學校あたりでの各教室で一級數十名の學生等の鑑賞の儘に任せて自由な姿勢を執り得る迄には、個人のアトリエで可成の修練を積みねばならぬと云ふことである。

収入——モデルは午前九時から十二時迄、午後一時から四時迄の三時間勤務である尤も夏季は七時から九時、十時から十二時、二時から四時、五時から七時の二時間勤務である、裸體なれば半日一圓二十錢、着衣一圓、小供八十錢（親附添は大人並）である、日の永い夏は一日四箇所、日の短い時でも二箇所のアトリエは優に掛け持てるから日に二三圓から五圓、月収にして六七十圓から百五十圓位であらう。

モデルの繼續期限は邦畫は三日から一週間洋畫は三週間から大作になると、三ヶ月にも亘るものがある。完成の上は規定の給料の外多少の完成報酬があるといふことである。

市内に於ける唯一のモデル紹介所は下谷區谷中坂町九十五番地の宮崎幾太郎氏である。そうしてモデル女は収入の中から毎土曜日に一週間分の手數料として金參拾錢を紹介者に納めることになつて居る。

ガイド

ガイドは外人の觀光客に接して、日本の風光や國情を紹介し、よく理解させることに於て意義ある職業ではあるが、婦人ガイドは餘り發展してゐるとは云はれない。それは外泊勝の旅行であるから、婦人客か夫婦者に限られてゐると、精巧なガイドブックとがあつて、さまでガイドを必要としないといふ理由もあらう。

ガイドとして警視廳の試験に合格した者は、男子百五十人に對し、女子は僅か、五人であるが其の中、海外に行つ

て居る者又は廢業して居る者等があつて現在では高康子氏一人に過ぎない、それも英語の個人教授が本業で、ガイドは寧ろ副業の觀がある。

ガイドの収入は汽車、汽船、車馬賃、宿泊料等一切向ふ持ちで、一人一日十圓、一人を増す毎に二圓づつ増額する事になつて居る。一ヶ月の案内度數は平均十回位のものである。

婦人ガイドを採用する處は、帝國ホテルのみで、ステーションホテルでは、一切頼まぬとのこと、又ホテルのガイド係等に相當の心附けをせぬと、なか／＼頼んではくれず、皆男子のガイドに職を與へてしまふさうである。

ガイド志望者は警視廳の外事課へ願書と、手札形の寫眞二葉に、二圓の受験料を添へて提出して受験するのである。試験期間は十月二十一日頃で試験科目は歐文和譯、本邦地理と歴史とである。本試験は豫備試験に合格したる者に對して聽取、及會話に就て之を行つてゐる。

第二編 職業婦人に關する統計及記述

第一章 身上に關する事項

第一節 年齢及配偶關係

教師、タイピスト、事務員、店員、看護婦、交換手の各職業婦人九百人に就いて其の年齢及配偶關係を見るに、未婚者は總數の八三・六%に當り、就中、十七八歳より二十三四歳迄の年齢の者が最も多く、未婚者總數の八一・七%を占めて居り、二十四五歳からは激減し三四十代となれば極く少數となつて居る。されば現代に於ける婦人の結婚年齢は略二十歳から二十二三歳であるといふことが推測される。有配偶者は總數の一二・八%であるが、家庭の主婦として最も働き盛りの年齢の者即ち二十四五歳から三十四五歳の者が最も多くて略過半數を占めて居る。離婚者は總數の一・三%、寡婦は二・三%に當り、共に三十四五歳より四十八九歳の者が最も多い。即ち左表の如くである。

第一表 (イ) 業務別に依る配偶關係 (實數)

配偶別	業務別	教師	タイピスト	事務員	店員	看護婦	交換手	計
未婚者		三八人	二三人	二六三人	一五五人	三五人	二三八人	七五二人
有配偶者		七八	二	二六	四	二	四	一一六
離婚者		五	一	二	四	一	一	一一
寡婦		一一	一	一	五	三	一	二二
計		一三二	二六	二九二	一六八	四〇	二四二	九〇〇